

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年5月11日(2006.5.11)

【公表番号】特表2005-526102(P2005-526102A)

【公表日】平成17年9月2日(2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-034

【出願番号】特願2003-580314(P2003-580314)

【国際特許分類】

C 0 7 D 309/32 (2006.01)

A 6 1 K 31/351 (2006.01)

A 6 1 K 31/423 (2006.01)

A 6 1 K 31/427 (2006.01)

A 6 1 K 31/4433 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 405/06 (2006.01)

C 0 7 D 407/06 (2006.01)

C 0 7 D 413/06 (2006.01)

C 0 7 D 417/06 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 309/32

A 6 1 K 31/351

A 6 1 K 31/423

A 6 1 K 31/427

A 6 1 K 31/4433

A 6 1 P 31/14

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 0 7 D 405/06

C 0 7 D 407/06

C 0 7 D 413/06

C 0 7 D 417/06

【手続補正書】

【提出日】平成18年3月15日(2006.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

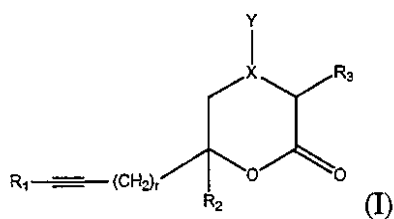
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)：

【化1】



〔式中：

r は、0、1、2、3、4または5であり；

Y は、 $=O$ 、または、 $-O(CH_2)_n$ であり（ m は2または3であり、 n は0～5の整数である）；

ここで Y が $-O(CH_2)_n$ の場合、 X は、

【化2】



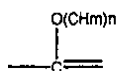
であり、 Y が $=O$ の場合、 X は、

【化3】



であり；または、 X および Y が一緒になって、

【化4】



を形成し；

R_1 は、水素、または、アリール基、ヘテロアリール基もしくはヘテロシクロアルキル基であり、該アリール基、ヘテロアリール基もしくはヘテロシクロアルキル基は、非置換、または、ハロゲン； $=O$ ； $=S$ ； $-CN$ ； $-NO_2$ ；アルキル；ヘテロアルキル；アルケニル；アルキニル；アリール；シクロアルキル；ヘテロシクロアルキル；ヘテロアリール；アルコキシ； $-(CH_2)_zCN$ （ z は、1～4の整数である）； $=NH$ ； $-NHOH$ ； $-OH$ ； $-C(O)H$ ； $-OC(O)H$ ； $-C(O)OH$ ； $-OC(O)OH$ ； $-OC(O)OC(O)H$ ； $-OOH$ ； $-C(NH)NH_2$ ； $-NHC(NH)NH_2$ ； $-C(S)NH_2$ ； $-NHC(S)NH_2$ ； $-NHC(O)NH_2$ ； $-S(O_2)H$ ； $-S(O)H$ ； $-NH_2$ ； $-C(O)NH_2$ ； $-OC(O)NH_2$ ； $-NHC(O)H$ ； $-NHC(O)OH$ ； $-C(O)NHC(O)H$ ； $-OS(O_2)H$ ； $-OS(O)H$ ； $-OSH$ ； $-SC(O)H$ ； $-S(O)C(O)OH$ ； $-SO_2C(O)OH$ ； $-NHSH$ ； $-NHS(O)H$ ； $-NHSO_2H$ ； $-C(O)SH$ ； $-C(O)S(O)H$ ； $-C(O)S(O_2)H$ ； $-C(S)OH$ ； $-C(SO)OH$ ； $-C(SO_2)OH$ ； $-NHC(S)H$ ； $-OC(S)H$ ； $-OC(S)OH$ ； $-OC(SO_2)H$ ； $-S(O_2)NH_2$ ； $-S(O)NH_2$ ； $-SNH_2$ ； $-NHC(SO_2)H$ ； $-NHC(SO)H$ ； $-NHC(S)H$ ；および、 $-SH$ 基からなる群より選択される1またはそれ以上の置換基で置換されており、該置換基は、非置換、または、ハロゲン； $=O$ ； $=S$ ； $-CN$ ； $-NO_2$ ；アルキル；ヘテロアルキル；アルケニル；アルキニル；アリール；シクロアルキル；ヘテロシクロアルキル；ヘテロアリール；アルコキシ； $-(CH_2)_zCN$ （ z は、1～4の整数である）； $=NH$ ； $-NHOH$ ； $-OH$ ； $-C(O)H$ ； $-OC(O)H$ ； $-C(O)OH$ ； $-OC(O)OH$ ； $-OC(O)OC(O)H$ ； $-OOH$ ； $-C(NH)NH_2$ ； $-NHC(NH)NH_2$ ； $-C(S)NH_2$ ； $-NHC(S)NH_2$ ； $-NHC(O)NH_2$ ； $-S(O_2)H$ ； $-S(O)H$ ； $-NH_2$ ； $-C(O)NH_2$ ； $-OC(O)NH_2$ ； $-NHC(O)H$ ； $-NHC(O)OH$ ； $-C(O)NHC(O)H$ ； $-OS(O_2)H$ ； $-OS(O)H$ ； $-OSH$ ； $-SC(O)H$ ； $-S(O)C(O)OH$ ； $-SO_2C(O)OH$ ； $-NHSH$ ； $-NHS(O)H$ ； $-NHSO_2H$ ； $-C(O)SH$ ； $-C(O)S(O)H$ ； $-C(O)S(O_2)H$ ； $-C(S)H$ ； $-C(SO)OH$ ； $-C(SO_2)OH$ ； $-NHC(S)H$ ； $-OC(S)H$ ； $-OC(S)OH$ ； $-OC(SO_2)H$ ； $-S(O_2)NH_2$ ； $-S(O)NH_2$ ； $-SNH_2$ ； $-NHC(SO_2)H$ ； $-NHC(SO)H$ ； $-NHC(S)H$ ；および、 $-SH$ 基からなる群より選択される1またはそれ以上の置換基で置換されており；

R_2 は、シクロペンチル基であり、該シクロペンチル基は、非置換、または、ハロゲン； $=O$ ； $=S$ ； $-CN$ ； $-NO_2$ ；アルキル；アルケニル；アルキニル；アリール；シクロアルキル；ヘテロシクロアルキル；ヘテロアリール； $-(CH_2)_zCN$ （ z は、1～4の整数である）； $=NH$ ； $-NHOH$ ； $-OH$ ； $-C(O)H$ ； $-OC(O)H$ ； $-C(O)OH$

; - OC(O)OH; - OC(O)OC(O)H; - OOH; - C(NH)NH₂; - NHC(NH)NH₂; - C(S)NH₂; - NHC(S)NH₂; - NHC(O)NH₂; - S(O₂)H; - S(O)H; - NH₂; - C(O)NH₂; - OC(O)NH₂; - NHC(O)H; - NHC(O)OH; - C(O)NHC(O)H; - OS(O₂)H; - OS(O)H; - OSH; - SC(O)H; - S(O)C(O)OH; - SO₂C(O)OH; - NHSH; - NHS(O)H; - NHSO₂H; - C(O)SH; - C(O)S(O)H; - C(O)S(O₂)H; - C(S)OH; - C(SO)OH; - C(SO₂)OH; - NHC(S)H; - OC(S)H; - OC(S)OH; - OC(SO₂)H; - S(O₂)NH₂; - S(O)NH₂; - SNH₂; - NHC S(O₂)H; - NHC(SO)H; - NHC(S)H; および、-SH基からなる群より選択される1またはそれ以上の置換基で置換されており; および、

R₃は、水素、=SまたはSHであって、該SHは、非置換、または、アリール基で置換されている]

で示される化合物またはそれらの製薬上許容できる塩。

【請求項2】

R₂が、非置換のシクロペンチル基である、請求項1に記載の化合物または製薬上許容できる塩。

【請求項3】

R₃が水素である、請求項2に記載の化合物または製薬上許容できる塩。

【請求項4】

R₁は、ヘテロアリール基またはフェニル基であり、該ヘテロアリール基またはフェニル基は、非置換、または、ハロゲン; =O; -OH; =S; -SH; -N; アルキル; アルケニル; アルキニル; および、-CH(CH₃)₂からなる群より選択される1またはそれ以上の置換基で置換されており; または、2またはそれ以上の置換基が環化して、縮合した、もしくはスピロ多環式シクロアルキル; ヘテロシクロアルキル; アリール; または、ヘテロアリール基を形成する、請求項3に記載の化合物または製薬上許容できる塩。

【請求項5】

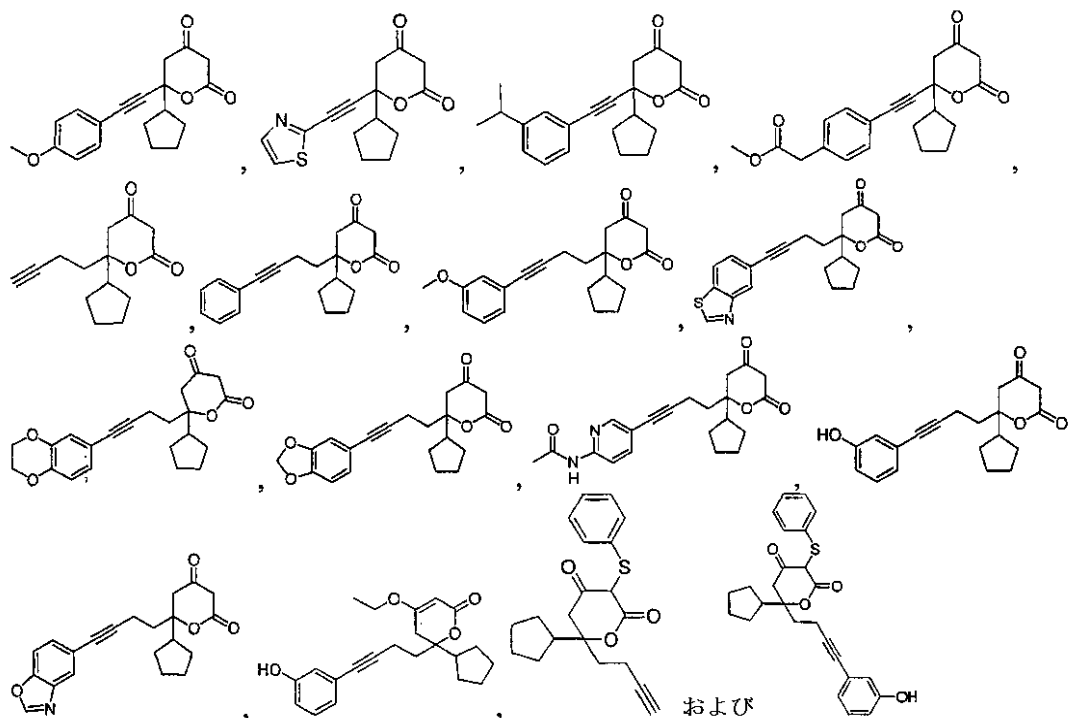
R₁が、フェニル基または非置換ヘテロアリール基である、請求項4に記載の化合物。

【請求項6】

R₁が、NおよびSから選択される1~3個のヘテロ原子を含む5員環のヘテロアリールである、請求項5に記載の化合物。

【請求項7】

【化 5】

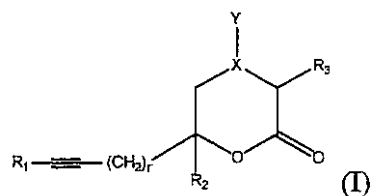


からなる群より選択される化合物またはそれらの製薬上許容できる塩。

【請求項 8】

式 (I) :

【化 6】



〔式中：

r は、0、1、または、2 であり；

Y は、 $=O$ 、または、 $-O(CH_2)_n$ であり (m は 2 または 3 であり、 n は 0 ~ 5 の整数である)；

ここで Y が $-O(CH_2)_n$ の場合、 X は、

【化 7】



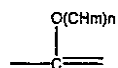
であり、 Y が $=O$ の場合、 X は、

【化 8】



であり；または、 X および Y が一緒になって、

【化 9】



を形成し；

R_1 は、水素、または、アリールもしくはヘテロアリールであり、該アリールもしくはヘテロアリールは、非置換、または、アルキル；アルコキシ； $-OH$ ； $-NHCOH$ ；

および、-SH基からなる群より選択される１またはそれ以上の置換基で置換されており、該置換基は、非置換、または、=O；アルキル；および、アルコキシ基からなる群より選択される１またはそれ以上の置換基で置換されており；

R₂は、シクロペンチル基であり；および、

R₃は、水素である]

で示される化合物またはそれらの製薬上許容できる塩。

【請求項 9】

治療上有効にHCVを阻害する量の請求項 1 に記載の化合物または塩、および、製薬上許容できるキャリアーを含む医薬組成物。